

6 学校、保育園等の対応

子どもの安全を確保し、速やかに保護者に引き渡します

【保育園、幼稚園、学校※の対応方針】

- ① 原子力災害が起きたら、原則、休園・休校とします。
- ② 活動中に原子力災害が起きたら、園児・児童は保護者に迎えを依頼し、確実に引き渡します。中学生は速やかに帰宅させます。
- ③ 保護者に迎えを要請する時間がない場合は、保育園・幼稚園、学校などの単位で屋内退避や避難など必要な対応を行います。

※ 保育園・幼稚園、小・中・総合支援学校、児童館(児童クラブ)

当日は、できる範囲で確認にご協力ください。

7 屋内退避チェックリスト

屋内退避をするときに確認してください。

- あわてず落ち着いて、まずは建物の中に入る。
- 外気を入れないため、ドアや窓を閉める。
- 換気扇、エアコンを止める。
- テレビ、ラジオをつけ、正しい情報を入手する。
- 市の情報提供を待ちながら、冷静に行動する。
- 避難に備え、非常持ち出し袋を準備する。
- 食品はフタやラップをして冷蔵庫や戸棚に保管する。
- やむを得ず外出する場合は、長そで、マスクなどを身に着ける。
- 外から帰ったときは、顔や手を洗い、うがいをする。
- 着替えた衣類は、ビニール袋に入れて保管する。

原子力防災訓練参加者用

屋内退避対応マニュアル

平成25年10月13日(日)に防災訓練を実施します。

このマニュアルは、万が一の原子力災害発生時に、住民のみなさんが「適切な行動」を取っていただくため作成したものです。あらかじめお読みいただき、訓練当日にご活用ください。

1 訓練当日(10/13)のスケジュール

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------|
| 午前 7:00 | 市から、「 屋内退避準備 」の指示があります。 ⇒ 家の中に入るなど、屋内退避の準備をしてください。 |
| 午前 7:15 | 市から、「 屋内退避実施 」の指示があります。 ⇒ チェックリストを確認しながら屋内退避を実施してください。 |
| 午前 8:00 | 市から、「 屋内退避解除 」の指示があります。 ⇒ 訓練終了です。 |

2 市からの情報

様々な広報手段を使って情報をお知らせします

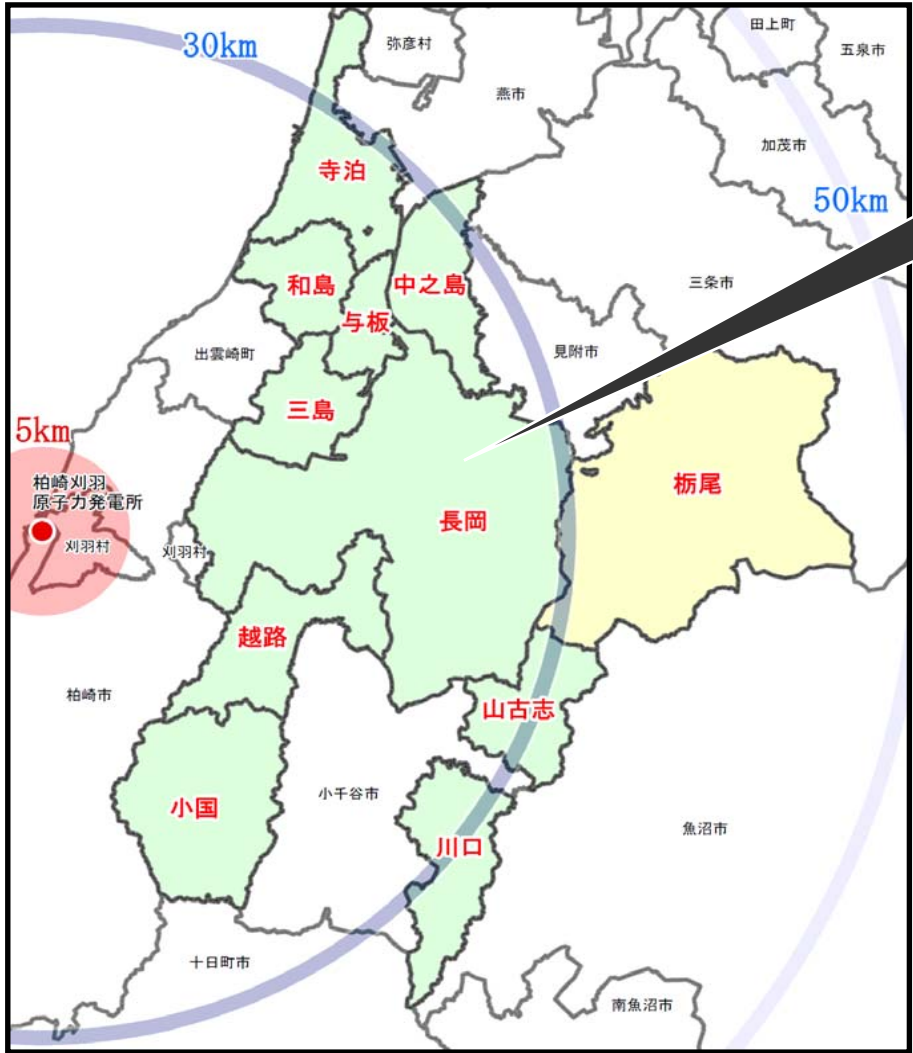


3 原子力災害が起きたら・・・

原子力発電所で異常が発生したとき、まだ大量の放射性物質が放出されていない段階で、まず原発から5 km圏の住民が避難します。

その際、原発から30 km圏の住民は、屋内退避をすることになります。

原発からの距離で対応が違います



長岡市のほとんどの地域は、『まずは屋内退避』が基本の対応です。

| 原発からの概ねの距離 | 市の該当地域 | 基本の対応 |
|---------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 半径5 km | 該当なし | 即時避難。 〔原発で全面緊急事態が発生し、放射性物質が大量に放出される前の時点で〕 |
| 半径5 km ~ 30km | 長岡、中之島、越路、三島、山古志、小国、和島、寺泊、与板、川口 | まずは屋内退避。 風向きや放射線量測定データなどを考慮して計画的に避難。必要に応じて安定ヨウ素剤を服用 |
| 半径30km ~ 50km | 栃尾 | 避難者の受入れを検討。 必要に応じて安定ヨウ素剤を服用 |

4 『屋内退避』について

被ばくの低減を図る防護措置です

屋内退避は、住民等が比較的容易にとることができる対策であり、放射性物質の吸入抑制や有害な放射線を遮へいすることにより被ばくの低減を図る防護措置です。避難の指示等が国等から行われるまで放射線被ばくのリスクを低減しながら待機する場合などに国及び地方公共団体の指示により行うものです。

あわてて自家用車などで避難した場合には、道路渋滞などにより、かえってリスクが高まることも懸念されています。

『屋内退避』の指示を聞いたら・・・



まずは建物の中に入る



ドアや窓を閉め、換気扇やエアコンを止める



テレビ、ラジオをつける



自主防災会組織内での情報伝達をしてください



その後の市からの情報に注意してください

5 安定ヨウ素剤について

放射性ヨウ素が身体に取り込まれると、甲状腺に集積し、数年～数十年後に甲状腺がん等が発生させる可能性があります。あらかじめ服用することでこのような内部被ばくによるリスクを低減する効果のある医薬品を『安定ヨウ素剤』といいます。

ただし、『安定ヨウ素剤』はその効果が服用の時期に大きく左右されること、また副作用の可能性もあることから、医療関係者の指示を尊重して合理的かつ効果的な防護措置として実施すべきとされています。

既に新潟県が40歳未満の長岡市民分を購入しており、現在、万が一の場合に備え、備蓄・配布・服用などの方法について、国や県などが中心に検討が進められていることから、市からも国や県に対して早急に方針を示すよう要望しております。



安定ヨウ素剤